

お知らせ

「寿司といえば、富山」「ものづくりの町・高岡」をPRする地域ブランドづくりを支援！

日本青年会議所・地域ブランド確立委員会は、9日に知事への表敬訪問を行います。

(公社)日本青年会議所・地域ブランド確立委員会は、「日本の地方を選ばれる地域へと変容させる」ことを目的に、全国各地に眠っている魅力的な製品やサービスを掘り起こし、それらに対して新たな価値を付加し、全国・世界に向けて展開していくことで、地域の製品やサービスを地域ブランドとして確立させることを目指し、1年間活動を行って参りました。その中で今回、富山県内にて生産者と共に協働し生み出した、製品と動画を知事へご紹介させて頂きたく、12月9日（火）に表敬訪問を行います。

①富山県のPR動画

富山市岩瀬にある鮨店 GEJO にスポットを当て、GEJO で使われている製品や特産品の生産者の方々を巡ることで、富山の魅力を発信し、地域のファンを増やすための動画を制作しました。動画の内容としては、海、山、平地、そこに暮らす方々の営みから生み出された製品や特産品。それらが凝縮されて生み出される「鮨」を映し、ただ「シャリ」と「ネタ」が組み合わさったものではない、生産者の方々の想いが乗った「鮨」として動画に収めています。撮影箇所は、氷見漁港、有限会社土遊野、モメンタムファクトリー・Orii、GEJO の4箇所。県外の方々へ、富山の大自然や伝統産業の素晴らしさを伝え、「寿司といえば、富山」であると感じてもらいたいと思っています。



②般若鋳造所の「吹き分けバングル」

般若鋳造所は、「ものづくりの町・高岡」で1870年(明治3年)に創業。創業以来、茶道具をはじめとした銅器や鉄器の製造、仏具や銅像の修理を行ってきました。しかしながら、それらの製品は時代の流れとともに急速に使われなくなり高岡の伝統産業自体が衰退してきています。そこで、般若鋳造所は現代的なデザインの装飾品に着目し、伝統技術である「金属の吹き分け」の技法を駆使することで、「吹き分けバングル」という新たな製品を生み出しました。コンセプトは「BORDERLESS」。男女の性別や年齢を超えて、どなたでも身に着けていただけるようなデザインに仕上げました。



【取材について】

以下の日程にて、新潟県知事への表敬訪問を予定しております。是非とも取材を賜りたく、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

◆日時：2025年12月9日(火)16:00～16:30

◆場所：富山県庁

◆出席者：公益社団法人日本青年会議所地域ブランド確立委員会委員長 米田恵樹 副委員長 松木一志
公益社団法人日本青年会議所富山ブロック協議会会长 大井山靖征 般若鋳造所 般若雄治

【お問合せ】公益社団法人日本青年会議所 地域ブランド確立委員会（担当：松木）090-9449-5414